



2025.09.16

No.26-149

<https://www.jfaiu.gr.jp>

EXPRESS

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：長谷川 樹 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5総合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163



航空連合成田がNAAに政策要請を実施！

第26期 政策実現総行動 第25弾

航空連合成田では、8月25日（月）に成田国際空港株式会社（NAA）に対して、職場の声をもとに作成した政策提言を提出し、以下の受け止めが示されました。



左から) 航空連合成田 佐藤会長、
NAA 大場 総務人事部長

NAAとしての受け止め（抜粋）：

・成田空港内における従業員の食事環境について

コロナ後は地元企業にご協力いただきながら、お弁当を作りT1、2、3、貨物や通信センター等に1日400食販売している。お弁当の営業日がビルの運営時間に合わせているため平日のみの販売になる。今後のエリア拡大を含めて活動を進めていきたい。また、エプロンエリアにはミニストップを設置しており、スタッフからも良い意見をいただいている。一方、時間帯や販売数については、商品の売り切れなども指摘されており、取扱数の増加（1日1配送→2配送など）を検討している。

・空港内企業・利用者間同士の連携について

2022年度よりスタッフ向けの空港見学会を実施している。昨年度はランプタワーの見学や、空港内事業者数社が参加したeスポーツ大会を実施した。また今後も8月30日に青空映画祭の開催を予定している。空港従業員含めご家族にも楽しんでいただきたい。今後も引き続き取り組みについて検討していきたい。

・安全性と利便性の両立について

ランプエリアのGSE置場が足りないとの声については問題意識を持っており、限られたスペースでの適正な台数について、まずは検証すべきと考えている。ランプエリアの隆起については、現在修理を進めている。何かあればNAA運用管理部まで適宜ご一報いただきたい。

・ドローンフレンドリーな空港の実現について

航空機整備においてドローンを活用する際の申請フローに課題があることは弊社としても理解している。現時点で航空法の観点から難しさもある。48時間前の申請が必要であるが、スピード感を持って申請できるような仕組み構築のための方策を検討していきたい。

「政策実現総行動」は、次年度予算概算要求・税制改正へ航空連合の要望を反映させるため、例年6～8月に本部・地方組織が一体となって集中的に政策実現に取り組む行動です。



航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業